

③もし、凍結してしまったら…

- 外にむき出しになっている水道管は、管に直接ぬるま湯をかけて様子を見る。
- 蛇口は、タオルをあてて、ぬるま湯をかけると余熱も利用できて効果的です。(写真3)
- ※熱湯は、水道管の破損ややけどなどの恐れがあるため、必ずぬるま湯で行ってください。

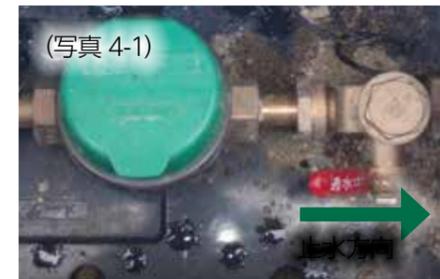


もしも、蛇口が凍結したときは、写真のようにタオルをあててから、ぬるま湯をかけてください。熱湯ですると水道管等が破損する場合があります。



④もし、水道管が破損して水が漏れだしたら…

- 自宅にあるメーターボックス内の止水栓を閉めて、市水道工事指定店へ連絡し、修理を依頼してください(写真4-1、4-2)。宅内給水管の修理については、自己負担となります。市水道工事指定店は、市ホームページに掲載しています。インターネット環境がない人は、企業局内に市水道工事指定店一覧表を用意しています。
- ※昨年の寒波の時に自宅のメーターボックスの位置がわからない人も多数いましたので、事前に場所の確認をお願いします。



宅地内の配管で漏水が止まらないときは、水道メーターボックス内にある止水栓を回して止水してください。また、止水栓を年2回程度動かして作動状況の確認をお願いします。

⑤水のくみ置きをお願いします

漏水により水が不足すると断水になる可能性があります。寒波が予想される時は、炊事やトイレ等の必要な水は、事前にくみ置きをお願いします。



昨年1月25日の大寒波を覚えていますか？ ～水道の凍結予防のお知らせ～

昨年、1月24日～25日に、氷点下6度以下の大寒波がおり、市内約2,000件で、宅内漏水などが発生し、水不足による広い範囲での断水の可能性もありました。今年もだんだん寒くなっていますので、次の点の確認をお願いします。

☎企業局お客様センター ☎64-3333

①冬の水道管の凍結にご注意ください！

外の気温が氷点下4℃以下になると水道が凍結しやすくなります。特に屋外、北側で日が当たらない場所、風当たりが強いところ、むき出しになっている水道管は注意が必要です。



②凍結を防止する対策として…

- むき出しになっている水道管を、発泡スチロール製の保温材などで保温します。(写真1)
- 屋外の蛇口に、乾いたタオルなどで保温して、水に濡れないようにビニールテープなどで包む簡易対策も一定の効果があります。(写真2-1、2-2)
- 家の中の水道を少し出しておきます。(水道料金は加算されますので、出しすぎにご注意ください)
- 給湯器などは、各機器の取扱説明書で、凍結防止対策を確認します。また、取扱説明書がない場合は、購入した販売店に尋ねてください。
- 長期間、家を留守にする場合は、メーターボックス内の止水栓を閉めておきます。



保温材が破けている場合は取り替えてください。簡易的にビニールテープで巻くのも一定の効果があります。



矢印のものが、保温材。材質は、スポンジのようなものです。外側の水道管などに巻いてありますか？保温材は、ホームセンターなどでも販売しています。



外栓がある場合、蛇口が一番凍結しやすいので、乾いたタオルを巻いて、ビニールテープなどで包む。

